

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催
第5回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和元年7月6日～7日、山口大学医学部附属病院新中央診療棟多目的室1、2において、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催第5回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムを開催しました。

ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムとは、米国で開発されたELNECのプログラムの日本版で、エンド・オブ・ライフケアを提供する看護師に必須とされる能力習得のための体系的な教育プログラムです。

今回は、院外から3名、当院から3名の認定看護師をファシリテーターとして迎え、山口県内の地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、特定領域がん診療連携推進病院、宇部・小野田・美祢圏域の経験年数3年以上の看護師26名の修了者となりました。

2日間の研修では講義だけでなく、グループで行うケーススタディ、3人で看護師役、患者役、観察者役を交替で演じるロールプレイも行い、患者さんとご家族に必要なエンド・オブ・ライフ・ケアを包括的に学習しました。

2日間に渡る長時間の研修でしたが、真剣に講義を聴講し、グループワークやロールプレイでは、活発な意見交換が行われ、参加者の意欲の高さを感じることができました。参加者の方々からは、「昨年参加したスタッフから誘ってもらって大変良かった。来年は自分が誘いたい」、「緩和ケア、がん性疼痛看護に興味を持っていたので、大変実になる講義でした。資料もわかりやすく集約されていて、当院のスタッフの学びに役立つことと思います。基礎を十分に学んだうえで、新しい知識を得て、実際のケアに活かしていきたい」、「モジュール毎に、実際に臨床の場面でも活用できるような具体的な方法が根拠に基づいて示されていて分かりやすかった。グループワークやロールプレイを通じて自分の傾向（出来ている事や苦手な事）を改めて知ることができました。ファシリテーターの方々の経験からの話（事例）もとても勉強になりました」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

本プログラムは来年も開催予定です。エンド・オブ・ライフケアを実践されている皆様のご参加をお待ちしております。



